

外国人介護人材についてのアンケート 集計結果

- アンケート実施時期 平成29年12月
- アンケート対象 県内の特養・デイサービス・養護軽費ケアハウス 578施設
- 回答件数 215施設(回答率 37.1%)

Q1 「外国人介護人材」を雇用していますか。

1	雇用している	55
2	雇用していない	160

Q2 Q1で「1.雇用している」と回答の方にはうかがいます。
どのような外国人介護人材を雇用していますか。(複数回答可)

		施設数	雇用実人数
1	EPA(インドネシア)	7	16
2	EPA(フィリピン)	10	21
3	EPA(ベトナム)	9	27
4	在日の定住・永住外国人	35	56
5	留学生	3	9
6	その他	3	5

Q3 Q1で「1.雇用している」と回答の方にはうかがいます。
外国人介護人材を雇用してみて、お感じになったことをご自由にお書きください。

別紙参照

Q4 Q1で「1.雇用していない」と回答の方にはうかがいます。
今後、外国人介護人材を雇用するご意向はありますか。

1	雇用する意向がある	63
2	雇用する意向がない	97

Q5 Q4で「1.雇用する意向がある」と回答の方にはうかがいます。
どのような外国人介護人材を雇用するご予定ですか。(複数回答可)

1	EPA(インドネシア)	10
2	EPA(フィリピン)	18
3	EPA(ベトナム)	27
4	技能実習生	29
5	在日の定住・永住外国人	47
6	留学生	15
7	その他	5

Q6 Q4で「1.雇用する意向がない」と回答の方にはうかがいます。
雇用する意向がない理由について下記より選択して下さい。(複数回答可)

1	外国人介護人材を雇用しなくても、必要な介護職員を確保できるから	37
2	制度がよくわからないから	8
3	言葉の問題等、不安があるから	60
4	その他 別紙参照	

Q7 外国人介護人材に関する研修会で、取り扱って欲しい内容がありましたら
お知らせください。

1	EPAの制度や導入方法等について	65
2	技能実習生の制度や導入方法等について	83
3	留学生受け入れについて	44
4	既に外国人介護人材を受け入れをしている施設の事例発表	130

Q3「外国人介護人材を雇用してみて感じたこと」の具体的記載事項

- ・ 言葉の壁はあまり感じなかった
- ・ 筆記力については個人差あり
- ・ コミュニケーション力については個人差がある
- ・ コミュニケーションに難あり
- ・ 日本語能力・専門用語の理解に職場のサポートが必要
- ・ 日本語を教える難しさあるが定着すれば戦力となる
- ・ 言葉の壁はないが、利用者様との会話において細かいニュアンスの違いには配慮が必要
- ・ 記録が難しい
- ・ 他のスタッフに良い刺激になった。研修等を見直すきっかけにもなった
- ・ 生活面も含めた受け入れ体制構築が重要
- ・ 宗教面・価値観の違いの理解が必要
- ・ 仕事のペースになじむのに時間かかっている
- ・ 私生活での考えがわからないことあり、どの程度関わるべきか悩む
- ・ 学習時間確保のため他職員に負担がかかる
- ・ コストがかかるのと途中帰国のリスクあり
- ・ 明るい
- ・ 熱心である
- ・ 真面目である

Q6「今後、外国人介護人材を雇用する意向がない」理由のその他の記載事項

- ・ 言葉の問題も心配だが、指導する職員の確保も難しい
- ・ 県南の地方にも来てもらえるのか、住居の用意も必要など細かい面が不明瞭なため
- ・ 近隣に住むところがない
- ・ 方言があり、慣れるまで苦勞するのでは
- ・ 宗教・生活文化の違い、理解が得られるか
- ・ 経費・条件・具体施設及び派遣先の対応とその内容がはっきりしない
- ・ 施設の負担があまりにも多い
- ・ 法人として受け入れ体制が整っていない
- ・ メリット・デメリットが不明確。長期の雇用が見込めない
- ・ 小人数職場で一人仕事の場面が多く不安
- ・ 入居者様とのコミュニケーションが不安